

桜楓たより

第1号

編集・発行

日進桜楓霊苑案内所
株式会社 大興企画

〒470-0102

日進市藤島町寺下甲29

☎0561-72-5454

ご縁をいただいて

宗教法人 雲興山龍谷寺 住職 成田隆真



なかなか自己回復できずに苦しんでいる方もいらっしゃると思います。どんなに深い悲しみでも、やはり正面からしっかり受け止めていくなかでしか、悲しみをまっすぐ超えることができないのではないのでしょうか。

静寂のなかに手を合わせ、亡き人の願いを想い、亡き人の命を自分の命に感じのお参りが悲しみを安らぎに少しずつ変えていくのではないでしょうか。

また、この霊苑には、生前（すぐに納骨の必要ではない）の方の石塔が多く建立されています。命は有限です。必ずお別れのときが遅かれ早かれ参ります。自分の死をしっかりと見据えて、今日を生きることが素晴らしい人生を生きたことだと思つていきます。それを実践されている方々です。



日進桜楓霊苑が自然との調和を成し、亡き人の心と手を合わせる人の心が優しく溶け合い、亡き人の安住の場所となるよう願つて、今後も環境を整備していきたいと考えています。

発刊にあたって

株式会社 大興企画 代表取締役 平岡 寛



3月も半ばになると春めいて、境内には白梅が可憐な花を咲かせています。近づく、清々しい香りが漂ってきます。何とも幸せな気分になります。どんなに科学が発達しても、この梅の香りを再現する香水はぜったいに出来ないだろうと思つてしまします。

禅に「梅花は寒苦を経て清香を発つ」という言葉があります。梅香が放つ清々しい香りは、冬の間の厳しい寒さを耐え忍んでこそ、生じるものです。

日進桜楓霊苑が開苑して7年目になりました。この間、お墓の開眼供養、お葬式、法事等に「ご縁をいただきました。このなかには、伴侶、両親、お子様と家族にとって、最も大切な人とお別れになって、悲しく辛い想いを抱いている方々もお会いいたしました。突然の別れにな

日進市のほぼ中央にある「日進桜楓霊苑」は、7年前の平成8年のお盆に宗教法人龍谷寺の境内地に、南斜面をひな壇に造

成をして、新しく作った霊苑です。

お参りされる皆様のことを考えながら、環境作りや施設を充実し、ほかに見られない理想的な霊苑造りを目指しました。その結果、皆様から大変なご好評をいただき、第1、第2、第5ブロックと、すでに約470基のお墓が建立されました。

縁あって当霊苑にお墓を建て

「桜楓たより」は年2回、春秋のお彼岸に発行を考えています。初刊は仏事に関する記事、「お彼岸のこと」「お墓参りについて」などを掲載いたしました。

今回は、皆様のご意見などを参考に、より充実した「桜楓たより」を作り上げていきたいと考えています。ぜひご意見、ご要望をお寄せください。

られた方々と、私たちは少しでも交流を図りたいとの願いが「桜楓たより」を発刊するきっかけとなりました。

手造り・オリジナル仏壇専門店

さん ぜん どう

三千堂

伝えていきましょう
手と含めず感謝の心

米野木信号角

☎0561-74-5101

日進市米野木町東田面123-1

営業時間／午前9時～午後7時

定休日／毎週火曜日

お彼岸のお参り

3月18日から24日までの1週間を「春彼岸」と昔から言い伝えられてきました。その真ん中の日の昼と夜の長さが同じとなる「春分の日」を「中日」と言います。彼岸は、春と秋の2回あります。私たちのいる世の中を、「此岸（しがん）」と言いますが、死んだ人が「彼岸」を離れて、仏や菩薩の悟りの世界である「彼岸」に渡ることとされ

てきました。この言い伝えは、聖徳太子が企画したものという説もありますが、太陽が西の方に沈むことが仏様のいる「清らかな国へ行く」ということとあいまっています。「彼岸」という行事が広まっていたと言われています。日本では1200年前、平安時代に伝えられ、「源氏物語」のなかにも「彼岸の中日（春分の日）」



のことを「いとよきひ」と書かれ、位の高い貴族たちが身体をきれいにし、いろいろな願いをする祭りの日であったとされています。

お寺では、「彼岸」を大切な行事の一つとし、「彼岸会（ひがんえ）」→「到彼岸の意」のため、春分を中日として、前後3日間、計7日間営まれる法要です。この行事は、インドや中国では見当たらず、彼岸会は日本独特の仏教法会であるといえます。昔は、彼岸の間、毎日お寺をお参りし、お説教を聴き、お経を唱え、修行しました。この修行の功德を先祖に回るのが彼岸の墓参りでした。

また3月18日を「彼岸の入り」と呼び、仏壇を丁寧に掃除し、墓参りをします。また団子を作ったり、ぼた餅を作ったり供えたりします。21日「彼岸の中日」もぼた餅や饅頭、草もちを作って仏様、お墓に供えます。24日が「はしりくち」と言い、団子やぼた餅を作り、同じように仏様やお墓に供えます。この日の団子を「送り団子」と言いました。この風習は、宗派によつて少しずつ違いますが、日本人にとって、精神的な節目の行事と言えます。

一般的な墓参りの作法

まず、お墓の周りの雑草をとり、ごみを整理し、墓石や周りをきれいにします。水鉢や花立て、香立ての中もスプーン状のものを掃除をしましょう。墓石の文字の汚れは、歯ブラシを使うとよくとれます。水洗いしたら布できれいにふき取ります。掃除がすんだら、供え物を用意し、ローソクに火をつけて線香を供え、ひしゃくで水を水鉢に注ぎます。その後、墓前で礼拝します。「南無帰依仏 南無帰依仏 南無帰依仏」と「三宝」を唱えたり、知っているお経を読むのもいいでしょう。

礼拝後は、後片付けをし、供え物はお下がりとして持ち帰ります。

●開眼供養

新しいお墓ができたなら、「開眼供養」をします。「精入れ」「魂入れ」ともいいます。

●納骨

遺骨をお墓に納めることを「納骨」といいます。火葬をし、骨あげをした後、お墓に納骨をするのが一般的です。埋葬には市町村が発行する「埋葬許可証」と認印が必要です。

●分骨

遺骨を二カ所以上のところに納骨することを「分骨」といいます。

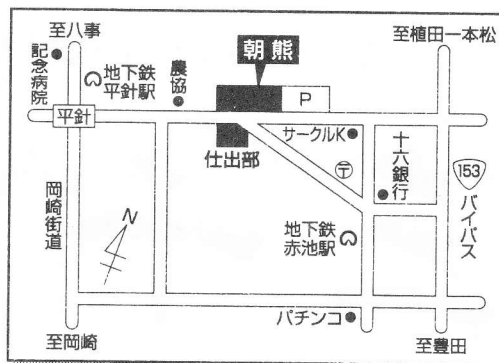
●改葬

お墓を移転することをいいます。改葬は、①現在、お墓のある墓地管理責任者に説明②新しい墓地を用意③役所で改葬の手続きをし、④前のお墓の「お魂抜き」「開眼供養」をします。⑤新しいお墓の「開眼供養」をします。改葬には、「埋葬証明書」「埋葬許可証」「改葬許可証」が必要です。

日本料理 朝熊

慶事、仏事等にご利用下さい。バス送迎有り

日本料理 ☎052-802-7778
仕出部 ☎052-801-3266
愛知県日進市赤池町村東99-1

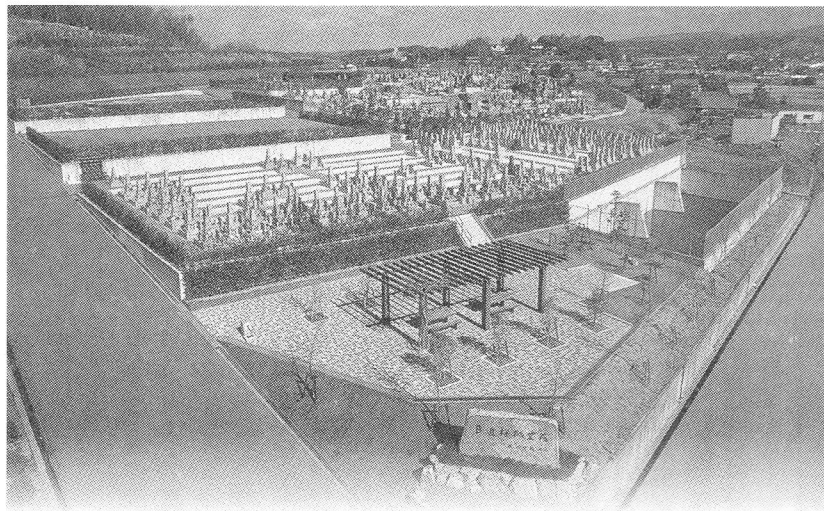


日進桜楓霊苑

名古屋東部にある日進市の中心に「日進桜楓（おふう）霊苑」があります。緑の丘陵に建つ霊苑は、春は桜、秋には楓が舞うところから「日進桜楓霊苑」と名づけられました。この地は、南向き高台で陽光あふれ、故人とともに鳥のさえずりや花々を眺めながら穏やかなひとときを過ごせる場所でもあります。

お寺と異なる競合寺は、開創500年を迎えるという曹洞宗の名刹。開基は、藤原則武と伝えられ、その後三州篠原永沢寺3世心月宗光大和尚が三州の城主・渡辺守綱の助力を得て、伽藍を整備し、当代の住職、成田隆真で38世となります。

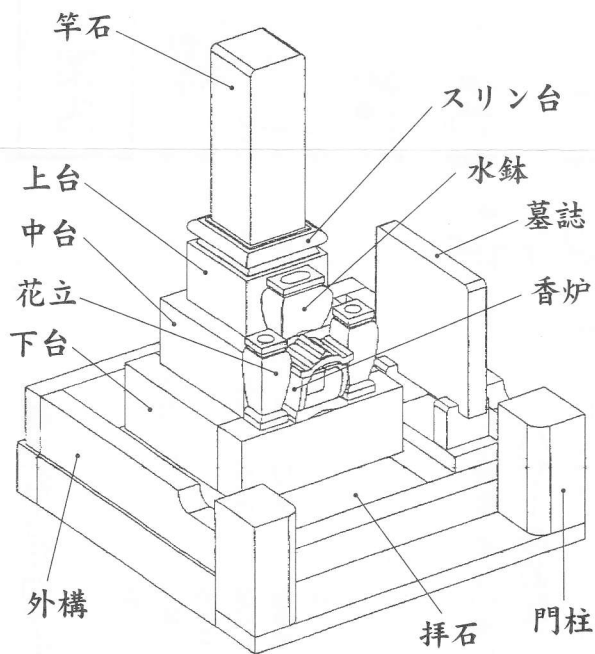
当寺の36世は、曹洞宗管長と横浜市鶴見にある曹洞宗大本山総持寺の眞首を務めました。



☎0120-5454-31

現地案内所
〒470-0102 日進市藤島町寺下甲29番地
(受付時間: 午前10:00～午後4:00 定休日: 毎週水曜日)

お墓の基礎知識



●石碑
石で作られた墓標のことです。石碑の材質には、花崗岩、安山岩などが使われます。

お墓の構造

●墓誌
個人墓の場合は、故人の戒名、俗名、没年享年（年齢）を刻み、故人の業績を称えて句を刻みます。その際は、遺族ではなく、別の人に依頼をし、それを誌した人の名も彫ります。

合祀塔になると墓碑とは別に建てます。

●墓とは？

死者の遺体や遺骨を埋めたところを「葬（はう）りのか処」といい、そこから「はか」となったといわれます。墓という漢字は、「巾（きれ）」をもって「おおう」という意味の「幕」の漢字の「巾」を「土」に置き換え、土をもつて人をおおうという意味もあります。

●墓地とは？

法律で用いられているお墓は、「墳墓」と「墓地」です。昭和23年に施行された「墓地埋葬等に関する法律」第2条には、「この法律で墳墓とは、死体を埋葬し、または焼骨を埋葬する施設をいう」と記されています。墓地は、都道府県知事の許可を得た区域です。

●お墓はいつ建てるのでしょうか

一定の決まりはありません。一般的には、法事の機会に合わせてお墓を建立します。1周忌までに整えることが多いようです。お墓は仏様になられた方のお住まいとなるところです。家がないままでは気持ちも安らぎません。ご先祖様の気持ちを思うと、できるだけ早く建立するようにしましょう。

花の店
もえ ぎ
萌木

・お墓の供養花を承ります
・全国どこでも花キューピット



日進市香久山2-1004 花の店 萌木
ユニー香久山店を南に50m

TEL/FAX 052-807-0433

龍谷寺

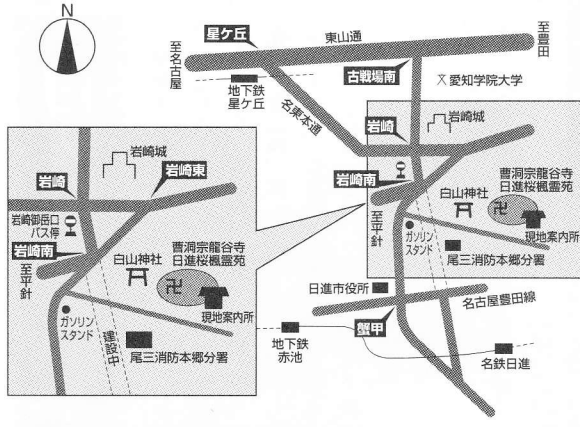
龍谷寺は、今から約500年前、心月宋光大和尚によって開山されました。以来、現住職にいたるまで38代続いています。

まご開山、横浜市の総持寺(大祖瑠山禪師さまご開山)となっています。

教義は、次の通りです。

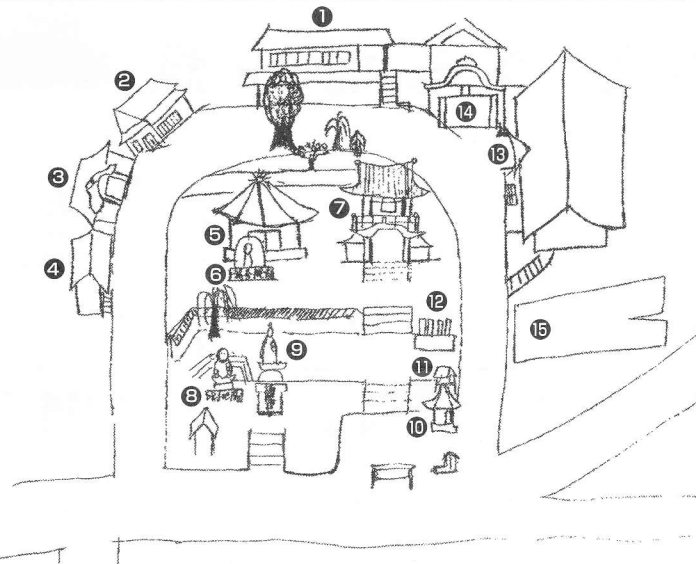
私たちは、みな仏の子であり、生まれながらに仏心を備えています。しかし、それに気づかず、我がまま、勝手な生活をして、苦しみ、悩みのもとを作っています。ひとたび仏様にさん悔(さんげ)し、帰依するならば、心が落ち着き、おのずから生活が整えられて明るくなり、社会の役に立つことを喜び、またどんな苦難にも耐えて、生き抜こうとする信念が生まれます。そこに生きがいと幸福とを発見するのが曹洞宗の教えです。

お経は修証義、般若心経、観音経、寿量品等の諸経典を誦読します。



- 地下鉄東山線「星ヶ丘駅」から車で17分、名鉄バス五色園行き「岩崎御岳口」下車、徒歩5分
- 地下鉄鶴舞線「赤池駅」から車で7分
- 名鉄豊田線「日進駅」から車で4分、名鉄バス星ヶ丘行きまたは長久手車庫行き「岩崎御岳口」または「本郷」下車、徒歩5分

龍谷寺境内案内



- 1 龍谷寺本堂
- 2 茶室「心月庵」
- 3 観音堂
- 4 十二支及七福善神堂
- 5 八角堂
- 6 龍谷観音
- 7 山門(鐘つき堂)
- 8 水子観音
- 9 福聚観音
- 10 福岡家の御堂
- 11 知恵の文殊菩薩
- 12 戦没者のお墓
- 13 庫裏
- 14 旧階段
- 15 日東保育園園舎

龍谷寺年間予定

- 三月二十一日(金) 春分の日
- 四月五日(土) 春の彼岸供養会 午後1時～3時
- 四月二十日(日) 芳校茶会
- 八月十五日(金) 盆供養会
- 九月二十三日(火) 秋分の日
- 十二月三十一日(水) 秋の彼岸供養会 除夜の鐘 打鐘

日東保育園 創立50周年

バザーのお知らせ

日東保育園は、日進市で初めての保育所として、昭和28年に創立されました。以来50年、働くお母さんの就労を保障し、子どもたちの幸せを願って運営しています。このたび、創立50周年を迎えるにあたって、バザーを行います。皆様のご協力をお願いします。

日時 5月18日(日) 11時～14時

場所 日東保育園仮設園舎

日進桜楓霊苑内

募集するもの ご家庭で不要の日用品、贈答品、電気製品、陶磁器、漆器など※食品は賞味期限内のもの
1点でもかまいません。直接保育園にお持ちくださるか、お電話をください。また、バザーのボランティアスタッフ(5月17日、18日)も募集中です。ふるってご参加ください。

創立50周年協議会実行委員会事務局

☎0561-72-0459

(午前9時から16時)



株式会社

そらび社

互助会会員の方も安心してご相談下さい

☎0120-7712-49

日進市米野木町柿ノ木前26

☎0561-72-1169

事業部 ☎052-802-7712

長久手店 ☎0561-62-8287

ライフサポート会員制度

Familiar Club 会員
ファミリアクラブ 募集中

入会金・年会費
月々の掛け金
無料!!